

学習支援ボランティア 松下 知津子さん



ここに書ききれないエピソードや写真は
当別町ホームページ「現代を生きる^{プラス}」
でご覧ください。



絵本と英語を通じて 新しい世界を知ってほしい

学習支援ボランティアとして、イングリッシュプロジェクトや読み聞かせ指導で教育活動をしている松下知津子さんにお話を伺いました。

経験を活かして教育の道へ

当別町には平成 27 年に移住してきました。小学校で教師をしていた経験やアメリカで 4 年ほど暮らしていた経験、帰国後は英語スクールを運営していた経験もあり、移住の際に町の担当者から当時のインターナショナルキッズプロジェクトを紹介されたことがきっかけで、英語教育に携わるようになりました。また、絵本の読み聞かせにも以前から興味を持っていて、前任のボランティアの方が引越されたこともあり、2 年前から小学校 1・2 年生を対象に英語の絵本を読み聞かせています。

絵本の魅力を英語で届ける

絵の独特なタッチや、物語を情景として思い浮かべることができ、色々な世界に触れることができるのが絵本の魅力だと思います。この魅力を子どもたちにも伝えられるように、読み聞かせに取り組んでいます。読み聞かせをするときは、

子どもたちの表情や反応を見ながら英語で読み進めています。絵本は季節に関係するものや、有名な童話を中心に選んでいるので、英語の文章が少し長くても、子どもたちが英語のリズムを楽しみながら、物語の面白さを理解している様子を見られると嬉しく感じます。

英語でのコミュニケーション

イングリッシュプロジェクトでは、ゲームをしたり歌を歌って単語を覚えていくような子ども向けの内容と、インターナショナルの先生方と少人数で話しながら英語を学ぶという、中高生や大人向けの内容とで分けて活動をしています。学校で学んでいる英語を、外国人の先生方や、友達同士のコミュニケーションを通して実践的に学べるような内容になっています。

英語を話すことは、その国の人の考え方や文化、歴史など様々なことを知り得るところが魅力だと思います。私自身もイングリッシュプロジェクトの先生方と親しくなり、英語でたくさんお話しすることで、その方の個性や魅力をもっと発見できていると感じました。子どもたちだけではなく、大人の方も英語でコミュニケーショ

ンを取ることで、様々なことを知るきっかけを増やしてほしいと思っています。

新しい世界を

今後は、読み聞かせを学校だけでなく、季節に合わせて図書館など地域で広く実施したいと考えています。子どもたちにもっと楽しんでもらえるように、声色や抑揚も工夫をしていきたいです。

イングリッシュプロジェクトでは、小・中学校で学んだ英語を生かしてコミュニケーション力を伸ばしてほしいと考えているので、より多くの中高生が参加するように働きかけていきたいです。また、コロナ禍以前に交流のあったアメリカの中高生の訪問やホームステイなどのプログラムの再開に関わっていきたく考えています。

英語は年齢に関係なく、継続して勉強し、たくさん話すことで上達していきます。イングリッシュプロジェクトは国際的な先生方と一緒に話ししながら、無料で英語を学ぶことができます。英語を通じて新しい世界を知り、交流を楽しめる機会にもなりますので、興味を持った方はぜひお気軽に参加してみてください。